

の地
横濱
団

自殺 降り飛び 小五

担任非難 走り書き

注意を受けて思いつめ?

十六日午後零時四十分ごろ、横浜市金沢区並木二丁目、市住宅供給公社さなみ団地十四号棟(十四階建て)の十三階と十四階の間にある踊り場から、近くに住む小学五年生の男の子が飛び降り自殺した。男の子は同日、学校で担任の女教諭から「注意を受けており、現場に担任を非難する走り書きを残していた。この先生は、日ごろは優しいベテランといひ、学校では「なぜ子供がそこまで思いつめたのか」と驚いている。

「世の中なんてなんだろう」とも



杉本 治君

死んだのは、横浜市金沢区並木二丁目、住宅・都市整備公社並木二丁目第一住宅に住む会社員杉本邦平さん(三男)の同市立並木第三小学校五年治君(二)だ。踊り場の高さ約百四十五センチのコンクリート壁を乗り越え

て飛び降り、約四十メートル下のコンクリート通路で全身を強く打ち即死した。金沢署の調べによると、踊り場に設置されている消火栓ボックスの金属板に油性の青色サインペンで「S60・2・16 12・24・32 オークン死去」と自殺の決行日時や担任の女教諭(五十)のニックネームをあげ「バカ」と非難し、級友四人の名を記した走り書きがあった。治君が消火栓ボックスを足場にコンクリート壁を何度も上り下りしているのを向かい棟の住人が目撃しており、ためらった末に身を投げたらしい。

励まし合えぬ子ども

自殺へ走る小学高学年

命に対するヨミ浅い

警察庁によると、過去五年間の子供の自殺では、小学二年生(六)が最年少。三、四年生でやや多くなり、五、六年生になると、目立つ。五十七年には、東京、秋田で五年生、青森で六年生が、五十八年には東京で六年

生、愛知と茨城で五年生が、五十九年には長野で五年生が、自ら命を絶している。この年代の子供たちは、なぜ死へ走るようになるのか。子供の内面に何が起るのか。識者に聞いた。教育評論家、遠藤豊吉さんの

話 十歳前後という年代は、子供が飛躍的に成長する節目で、友達関係や人間関係を、人生論のレベルでとらえ始める時期だ。つまり、生き死にの問題を考え始める入り口にあたる年齢ということだ。この子の場合も、転校生ということや、やさしい担任の先生を好きになられたという気持ちは一層あったろう。その先生はむしろ悪意があつて懲罰を与えたわけではないだろうが、子供はうんざりかられたことで先生とのつながりがブツンと切られたと思ひ、人生が真暗になるような気持ちになったのだと思う。こういう場合、ほかの子供たちが、悟り切っているようで怖い。

は「冗談です」と答えた。「二年前、東京都杉並区高円寺から引越してきた。級友の話では、治君は十五日の授業中、親友に「学校が破産すれば勉強しなくていいし、先生も楽になる」と言ひ、それに同調した友人が同日、せつけん水を廊下でまいた。この男の子は、担任に注意を受けた。その際、治君の言動を知った担任は十六日の始業時に、治君を教室内に立たせた。担任が「なぜ、あんなことを言ったのか」とたがすと、治君

は「冗談です」と答えた。「二年前、東京都杉並区高円寺から引越してきた。級友の話では、治君は十五日の授業中、親友に「学校が破産すれば勉強しなくていいし、先生も楽になる」と言ひ、それに同調した友人が同日、せつけん水を廊下でまいた。この男の子は、担任に注意を受けた。その際、治君の言動を知った担任は十六日の始業時に、治君を教室内に立たせた。担任が「なぜ、あんなことを言ったのか」とたがすと、治君

は「冗談です」と答えた。「二年前、東京都杉並区高円寺から引越してきた。級友の話では、治君は十五日の授業中、親友に「学校が破産すれば勉強しなくていいし、先生も楽になる」と言ひ、それに同調した友人が同日、せつけん水を廊下でまいた。この男の子は、担任に注意を受けた。その際、治君の言動を知った担任は十六日の始業時に、治君を教室内に立たせた。担任が「なぜ、あんなことを言ったのか」とたがすと、治君

「ベテランの教師 眞壁寿夫校長の話 担任は教師歴二十七年のベテランで母親のように子供と接していた。子供たちには日ごろから生命の大切さを訴えてきたのに、なぜ自殺したかは思いもつかない。

十六日夜、並木三小で報道陣に会った担任の女教諭は、ショックを隠し切れず、終始うつむきながら、治君をしかつたことを認めた。そして、治君の性格について「精神的には大人で、

「たばこと私」(35) プロレス中継で丸一時間差攻撃をした後は、さりもたばこが欲しいけど、周りの迷惑にならぬように一服します。古籍 伊知郎(ナウサー) ちよつとした心づ



④杉本治君が飛び降りた(矢印)高層住宅。⑤走り書きがされていた踊り場の消火栓ボックス 11月16日、横浜市金沢区並木二丁目のさなみ団地で



「暗く思ひ詰めるな」と励まし

エレクトロニクス時代を支える世界のブランド NIPPON CHEMI-CON 日本ケミコン株式会社

オー君の死 大きな波紋

小五飛び降り自殺に手紙続々

「だれにもいいえぬ悩み」

大人の無理解見つめる

子供たちの声

担任教師にさらされた後、横浜市金沢区並木、二十日、市立並木第三小五年、杉本治君(小五)が同区内の高層住宅から飛び降りた事件は、いま各地で同じ年代の子もたちや、大人の心をとらえ、生命とは何か、教育や大人に何が欠けていたのか、と齊えを迫っている。朝日新聞東京本社には、投書を募ったわけでもないのに、声欄や社会部に数十通の手紙が寄せられた。新しい教育のあり方を模索している臨時教育審議会では、少年の死が意味するものについて、議論が戦わされた。

子どもからの投書は、大人へ「した。私も一度自殺を考えたけど、なだめてくれる友達がいなかった。だれにもいいえぬ悩み」だ。その時、そういう気持ちを「死なずにすみませう。助けてくなく、友達だった。今の大人はびて激しい言葉が



杉本 治君



スヌーピーのかわいいイラスト入りの手紙の投書に、恐ろしく大人びて激しい言葉が

私達子どもから見ても理解力が全くありません。今の大人は子どもを全く信じていません。勝手な注文ばかりおしつけて自分たちは進歩しようとしてない」「オー君は自殺を『衝動的』にしたなんてことはないと思いませんか。小五を『幼い』なんて見ないでよ(れい子より)という

臨教審部会でも論議

臨時教育審議会では二十日夜行われた第一部会と第三部会の合同部会で論議になった。個性主義を打ち出した第一部会の香山健一部会長代理が、個性を大切にすることの意味を考へてほしいと、この問題について報じた新聞記事の「ピー」を委

車のトランクから死体

個人タクシー運転手惨殺

墨田の駐車場

首筋に果物ナイフよりのものを柄まで突き刺されたままに倒れておの、切っ先で肺などを損傷したことが死因と見られる。十一日未明から午前六時ごろまでの犯行らしい。宮島さんは、一日平均、三方の泥の上で働かれ、ドアはすべてロックが

も血や血のついた手袋の跡がつかっていた。このため同本部は、犯人が宮島さんを殺し、助手席に移してから自分で車を運転、しばらく走った後、宮島さんの遺体をトランクに乗せ換えて駐車場に運んだ、とみている。道路上の血痕は消えかかっていたが、同本部はルミノール液で血液反応を調べながら、車の来た方向を探った。また、後部座席に黒い革靴の片方が残っており、犯人のものとして調べている。

「白髪会館」が点在している。同市教委は、この報告書をさまたげないよう検討資料として使う」としている。

詳細な報告書 市教委に提出

並木第三小の校長

横浜市の市立並木第三小の真壁寿夫校長は二十一日夕、市教委に、同小五年杉本治君(小五)が飛び降り自殺した件に関する「事件報告書」を提出した。報告書には、杉本君の自殺の行動や飛び降り自殺した十六日に、担任女教師が杉本君にどのような注意したかなどについて、詳細に書かれているという。

「評論家」は「ああいう感受性の鋭い子の自殺を、制度の問題とか、教師や親の指導が悪いからだというのは間違っている。感受性の鋭すぎる子を持った親の不幸であり、そんな子を担任させられた先生の不幸と考えるしかない。逆に子どもにとって、子どもの心を理解できぬ親や教師を持ったためりあわせの悪さであり、世の中の業の問題だと考えるしかない」と述べた。